アスファルトルーフィング（JIS A 6005）　ストレッチルーフィング（JIS A 6022）

★運搬上の注意

- ルーフィング類は縦積みとし、運搬中はロールが転倒・転がり・荷崩れしないよう確実に固定し、落下や強い衝撃を与えない（横積み厳禁）。
- フォークリフトや荷揚げ時には、ロールをつぶしたり、角を損傷させたりしないよう注意する。
- 雨天時の運搬・荷揚げでは、梱包を含めて雨水に濡れないよう養生する。

★保管上の注意

- 雨水・直射日光を避けた乾燥した場所に保管する。
- 屋上へ荷揚げした後は、一箇所へ集中して仮置きせず、躯体への集中荷重や転倒・飛散にも注意する。
- 高温になる場所や火気の近くを避ける。
- 屋外で一時保管する場合は、防水シートなどで確実に養生するとともに、強風による飛散・転倒を防止する。
- 使用前には、巻きつぶれ、折れ、破れ、水濡れ等の異常がないことを確認してから施工に使用する。

★施工上の注意

- 下地は十分に乾燥させ、ほこり、油分、レイタンス、突起物など接着を阻害するものを除去する。凹凸、ひび割れ、入隅・出隅、ドレン・貫通部などについても、施工前に適切に処理する。
- 溶融アスファルトが適切な温度を保持しているうちに流し張りし、空気を巻き込まないよう十分になじませる。
- 所定の重ね幅を確保し、継目部まで溶融アスファルトを十分に行き渡らせて水密性を確保する。
- しわ、浮き、ふくれなどを生じさせず、全面を確実に密着させる。

あなあきルーフィング（JIS A 6023）

★運搬上の注意

- ルーフィング類は縦積みとし、運搬中はロールが転倒・転がり・荷崩れしないよう確実に固定し、落下や強い衝撃を与えない。
- フォークリフトや荷揚げ時には、ロールをつぶしたり、角を損傷させたりしないよう注意する。
- 雨天時の運搬・荷揚げでは、梱包を含めて雨水に濡れないよう養生する。

★保管上の注意

- 雨水・直射日光を避けた乾燥した場所に保管する。
- 屋上へ荷揚げした後は、一箇所へ集中して仮置きせず、躯体への集中荷重や転倒・飛散にも注意する。
- 高温になる場所や火気の近くを避ける。
- 屋外で一時保管する場合は、防水シートなどで確実に養生するとともに、強風による飛散・転倒を防止する。
- 使用前には、巻きつぶれ、折れ、破れ、水濡れ等の異常がないことを確認してから施工に使用する。

★施工上の注意

- 下地は十分に乾燥させ、ほこり、油分、レイタンス、突起物など接着を阻害するものを除去する。凹凸、ひび割れ、入隅・出隅、ドレン・貫通部などについても、施工前に適切に処理する。
- あなあきルーフィングは、しわ、浮きおよびずれが生じないよう平滑に敷設し、シート相互は突付けとする。
- 上から所定量の溶融アスファルトを塗布して次工程のルーフィング類を流し張りし、あな部を介して溶融アスファルトを下地面に到達させることにより、下地と防水層を部分接着させる。

網状アスファルトルーフィング（JIS A 6012）

★運搬上の注意

- ルーフィング類は縦積みとし、運搬中はロールが転倒・転がり・荷崩れしないよう確実に固定し、落下や強い衝撃を与えない。
- フォークリフトや荷揚げ時には、ロールをつぶしたり、角を損傷させたりしないよう注意する。
- 雨天時の運搬・荷揚げでは、梱包を含めて雨水に濡れないよう養生する。

★保管上の注意

- 雨水・直射日光を避けた乾燥した場所に保管する。
- 屋上へ荷揚げした後は、一箇所へ集中して仮置きせず、躯体への集中荷重や転倒・飛散にも注意する。
- 高温になる場所や火気の近くを避ける。
- 屋外で一時保管する場合は、防水シートなどで確実に養生するとともに、強風による飛散・転倒を防止する。
- 使用前には、巻きつぶれ、折れ、破れ、水濡れ等の異常がないことを確認してから施工に使用する。

★施工上の注意

- 下地は十分に乾燥させ、ほこり、油分、レイタンス、突起物など接着を阻害するものを除去する。凹凸、ひび割れ、入隅・出隅、ドレン・貫通部などについても、施工前に適切に処理する。
- 施工前に、折れ、しわ、裂け、織り目の乱れや網目の閉塞がないことを確認する。
- 所定の施工温度に管理したアスファルトを均一に塗布し、網目に十分に行き渡らせて前後のアスファルト層を一体化させる。
- しわ、浮きおよび蛇行が生じないよう平滑に施工する。

改質アスファルトルーフィングシート（JIS A 6013）

★運搬上の注意

- ルーフィング類は縦積みとし、運搬中はロールが転倒・転がり・荷崩れしないよう確実に固定し、落下や強い衝撃を与えない。
- フォークリフトや荷揚げ時には、ロールをつぶしたり、角を損傷させたりしないよう注意する。
- 雨天時の運搬・荷揚げでは、梱包を含めて雨水に濡れないよう養生する。

★保管上の注意

- 雨水・直射日光を避けた乾燥した場所に保管する。
- 屋上へ荷揚げした後は、一箇所へ集中して仮置きせず、躯体への集中荷重や転倒・飛散にも注意する。
- 高温になる場所や火気の近くを避ける。
- 屋外で一時保管する場合は、防水シートなどで確実に養生するとともに、強風による飛散・転倒を防止する。
- 使用前には、巻きつぶれ、折れ、破れ、水濡れ等の異常がないことを確認してから施工に使用する。

★施工上の注意

（溶融アスファルトによる流し張りの場合）

- 下地は十分に乾燥させ、ほこり、油分、レイタンス、突起物など接着を阻害するものを除去する。凹凸、ひび割れ、入隅・出隅、ドレン・貫通部などについても、施工前に適切に処理する。
- 溶融アスファルトが適切な温度を保持しているうちに流し張りし、空気を巻き込まないよう十分になじませる。
- 所定の重ね幅を確保し、継目部まで溶融アスファルトを十分に行き渡らせて水密性を確保する。
- しわ、浮き、ふくれなどを生じさせず、全面を確実に密着させる。

（トーチバーナーによる融着の場合）

- 下地は十分に乾燥させ、ほこり、油分、レイタンス、突起物など接着を阻害するものを除去する。凹凸、ひび割れ、入隅・出隅、ドレン・貫通部などについても、施工前に適切に処理する。
- トーチバーナーでシート裏面の改質アスファルトが均一に溶融するように炙り、空気を巻き込まないよう下地になじませ融着させる。
- 所定の重ね幅を確保し、継目部は加熱不足を生じさせないよう均一に融着し、水密性を確保する。
- しわ、浮き、ふくれ等が生じないよう確実に張り付ける。

（粘着層による接着の場合）

- 下地は十分に乾燥させ、ほこり、油分、レイタンス、突起物など接着を阻害するものを除去する。凹凸、ひび割れ、入隅・出隅、ドレン・貫通部などについても、施工前に適切に処理する。
- 位置合わせを行いながら剥離フィルムを徐々に剥がし、しわや蛇行を生じさせないよう張り付ける。
- 張付け後はローラー等で均一に圧着し、下地と粘着層を確実に密着させる。
- 所定の重ね幅を確保し、重ね部に異物や水分がないことを確認して確実に圧着して接着させる。重ね部は、使用する製品の施工要領に従い、粘着層、トーチバーナーまたは専用シール材により処理する。